

愛媛労働局発表  
平成29年11月17日

【照会先】

愛媛労働局労働基準部監督課  
監督課長 浅山 辰哉  
監察監督官 前川 浩二  
電話 089(935)5203 内線 451・452

報道関係者 各位

## 「ベストプラクティス企業への職場訪問」を実施しました

～愛媛労働局長が花王サニタリープロダクツ愛媛株式会社を訪問しました～

愛媛労働局長(濱本和孝)は、「過重労働解消キャンペーン」期間中の11月8日、長時間労働の削減をはじめとする働き方改革を積極的に推進している「ベストプラクティス企業」を訪問し、取組状況等について意見交換を行いました。

訪問企業	花王サニタリープロダクツ愛媛株式会社
所在地	西条市ひうち6番地3
代表取締役	大磯一郎
資本金	9,000万円
労働者数	約300名
事業内容	ベビー用紙おむつ、生理用品、おそうじシート等の生産
訪問の目的	長時間労働の削減等に向けた積極的な取組を行っている県内企業を、愛媛労働局長が自ら訪問し、その取組事例を収集するとともに、他の企業に広く紹介する。

懇談する局長(左)と代表取締役(右奥)



労働者との意見交換



## 取組の概要

### <労働時間短縮に取組むきっかけ>

ベビーおむつ事業が好調で生産能力強化のための工事が続き、2016年からは大型の建設工事を行うため、特命プロジェクトで注力したが、工期の兼ね合いで残業を行う必要が発生し、従来よりも更にきめ細かく、短い時間に対応する必要があると感じた。

### <労働時間短縮のアクション>

- ・ 代表者の想いをメッセージとして発信
- ・ グループごとに労働時間の数値目標を宣言し、達成に向けて管理
- ・ No 残業 Day、No 会議時間帯の確実な実施
- ・ 会議時間の短縮、頻度、出席者の見直し
- ・ 改良試運転、建設工事の管理体制を強化

### <管理職と若者とのコミュニケーションを図るための工夫>

「お互いに理解し、影響し合うことで『よき仲間づくり』に繋げることを目的とした「クロストークミーティング」という研修会を開始し、管理職と若手メンバーとの意見交換の場としている。

### <No 残業 Day>

導入当初、毎週水曜日としていたが、強制した曜日ではなく、各自のスケジュールに合わせて毎週1回以上、残業しない日を自ら設定することで、当事者意識が芽生え、達成への取組が進んだ。

## 労働者との意見交換、事務室の視察

- ・ 設備エンジニアの男性から、  
「以前は生産開始日が最優先で、休日出勤や残業をし、工事日数を短縮することを優先していましたが、最近は、長時間労働削減の取組みの中で、休日の確保・残業0をベースとし、工事に必要な期間を提示し、その期間・日数を確保してもらうという風になっています。このため、計画通りに実行出来ていれば、きちんと休める工事期間が確保されているので、休日の計画も立てやすくなったと思います。」
- ・ 事務系スタッフの女性から、  
「メリーズタイムという勤務時間短縮制度を利用して、今は小学生の子供中心の生活になっています。子供が小さいと熱が出て急に休むことや早退することがよくあるので、制度だけでなく一緒に働く職場の方や家族の助けも大きかったと思います。」と意見が寄せられました。また、事務室を視察し、掲示されたグループ労働時間目標や退社時間について、代表取締役から説明を受けました。

事務室視察



掲示板



## 今後の方針

代表取締役は、「一層のレベルアップを実現させるため、これまでの取組みを振り返り、分析し、さらなる工夫を実施するとともに、社内外で良い事例があれば、そこからも学んでいきたいと考えております。」と今後に向けた意欲を述べられました。